

JIA東びわこと皆さんとの関係を深める広報誌

TSUNAGU

— つなぐ —

TSUNAGUは、JA東びわこへ出資いただいている准組合員の皆さまへお届けしています。
JAや地域、農業をより身近に感じていただきたいと思いを込めて制作しました。
ぜひご一読いただけますと幸いです。



特集

「地元のお米について考える」 飲食店インタビュー

彦根市後三条町 チーズケーキとからあげ 福のや
彦根市本町一丁目 かわいい巻き寿司食堂 teraitei



「地元のお米について考える」

飲食店インタビュー



チーズケーキとからあげ
福のや
◎彦根市後三条町593-10
☎0749-24-4222
昼11:00～14:00／夜15:30～20:00
⑩毎週(月)

唐揚げを愛する店主・福地亮太郎さんが本場の大分県で20店舗以上食べ歩き、ほれ込んだ有名店からのれん分けして開業。テイクアウト専門。材料にこだわり抜いたジューシーな唐揚げを、JAから仕入れる白米と一緒にモリモリ食べられる弁当や丼ぶりに要注目。



農振興課 中澤 美智子

中澤: 出来たて唐揚げの香りがすごい! おいしそうですね~!!

福地さん: 小麦粉を使わずサクサクの衣に仕上げています。ぜひ白米と一緒にがっつり食べてくださいね。

中澤: では早速、インタビューさせていただきます! 白米は、何の品種を使われているんですか?

福地さん: 近江米『みづかがみ』を使用しています。ほどよい粘りとまろやかな甘みが当店の唐揚げにマッチしている品種だと思います。

中澤: なるほど! 農薬や化学肥料の使用量を通常の半分以下に減らすなどして栽培する『環境こだわり農産物』の認証を受けており、JAとしてもぜひ多くの方に食べてもらいたい品種ですね。

福地さん: 「安全」「安心」「おいしい」ので、特にJAさんから仕入れる意義は大きいです。



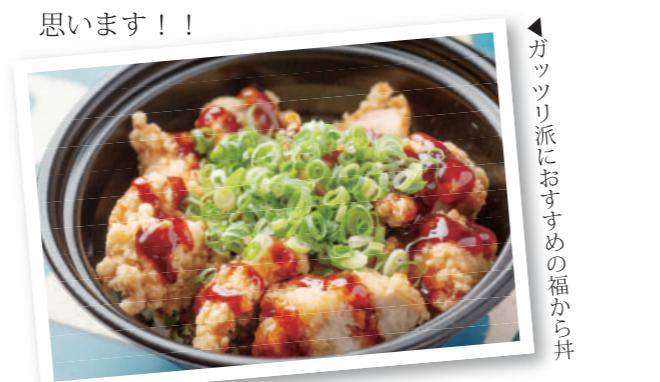
中澤: いま、農業資材や燃料の価格高騰等で、農家は大変な苦境に立たされています。そのことについて、福地さんはどうお考えですか?

福地さん: まず、生産コストの上昇が消費者価格に適正に反映されていない現実を農業関係者だけでなく、多くの人が知る必要があると思います。それを知ったからこそ、地元のお米を「食べて応援」しようと思うのではないでしょうか?



中澤: その通りですね! 地域の農業を守り高めるJA職員として、多くの人に知ってもらえるようがんばります!!

福地さん: ご活躍を期待しています! 私も地域で「食」を扱う人間として、できることをやっていきたいと思います!!



おすすめ
福から弁当
630円(税込)
福から丼
790円(税込)



かわいい巻き寿司食堂 teraitei

◎彦根市本町一丁目11-7(四番町スクエア内)

☎0749-47-6088
昼11:30～16:00(L015:00)／夜17:30～21:00(要予約)
⑩毎週(月)、その他不定休



スマホで読み取って
お店のInstagramを見る



東京のフランス料理店でコックをしていた寺居裕香さんが、結婚・帰郷をきっかけに開業。「子どもと一緒に食事を楽しめるレストラン」をコンセプトに、キッズスペースや幼児トイレ、授乳室を完備する。「ひこにゃん」や動物など、とってもかわいい飾り巻き寿司に要注目。

寺嶋: うわっ、すご!! この巻き寿司、すごくないですか? めっちゃ可愛いです~!!

寺居さん: 良いリアクション、ありがとうございます(笑)

寺嶋: しかも美味しい! そりゃあ子どもさんも大喜びですね!

寺居さん: お米は、さっぱり感が巻き寿司に向いている近江米の『日本晴』を使用しているんですよ。

寺嶋: どうして、飾り巻き寿司を提供しようと思ったのですか?

寺居さん: 子どもたちと楽しく食事ができ、くつろげる空間を提供するレストランづくりを考える中で、「子どもが喜ぶかな?」と思って講習を受けに行つたのがきっかけです。事前にリクエストをいただけすると、アニメのキャラクターなどだいたい何でも作れますよ。



寺嶋: 日本ではお米の消費量が減少し続け、「お米離れ」が言われて久しいですが、寺居さんはどうお考えですか?

寺居さん: 少子高齢化や世帯構造の変化だけでなく、パンや麺など「食」の多様化が原因の1つだと思います。選択肢が増えることは良いですが、やっぱり古くから親しまれているお米をないがしろにはできないですよね。そういう意味で、飾り巻き寿司

の体験教室などを通じて「食育」を実践できればと考えています。

寺嶋: なるほど、巻き寿司も日本の伝統的な文化ですもんね。お米を食べることの大切さを、次世代を担う子どもにこそ伝えるべきだと僕も思います。

寺嶋: では最後に、今後の目標を教えてください。

寺居さん: 来店してくれた子どもが大人になってからも、また子どもを連れてきてくれるような長く愛されるお店にしたいです。四番町スクエアのお母ちゃんみたいな存在を目指しています!

寺嶋: まさしく! 支店に帰ったらきっちり宣伝しておきます☆



◆ ディッシュは事前予約で
テイクアウトも可能



おすすめ

Lunch Menu A

・オードブル・メイン・巻き寿司
・ドリンク・デザート(+380円)

1,760円(税込)

飾り巻き寿司

1個 214円(税込)~



みんなで応援! 「国消国産」

「国消国産」とは、国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産するというJAグループの考え方です。日本の食料自給率は38%[※]で、食料の約6割を輸入に頼っていることや国内農業者の減少・高齢化、農地面積の減少など日本の「食」と「農」は今、危機にさらされています。日々私たちの食卓を守り、元気を与えてくれる農家さん。そんな農家のために私たちができることは何でしょうか。

※カロリーベース

日本の食は今さまざまなリスクに直面しています!

新型コロナウイルス感染症が広がり始めたとき、マスクが不足して大きな問題になりました。もしこれが食料だったら私たちの生活はどうなっていたでしょうか。私たちが生きていくために「食」は欠かせません。しかし、農畜産物は、不足したからといって、すぐに作れるわけではないのです。

日本の「食」をとりまく5つのリスク



食料自給率の低迷

食料の多くを輸入に頼っている



農業生産基盤の弱体化

農家の減少と高齢化、農地の減少が進む



自然災害の多発

地球温暖化により世界的に自然災害が増えている



世界的な人口増加

人口増加による食料不足が懸念される



国際化の進展

輸入増加による食料自給率の低下の可能性

「国消国産」で「食」の安全を次の世代に

このようなリスクにさらされている中、JAグループとして「国消国産」を提案しています。私たちの食卓を守ることはもちろん、子どもや孫、その次の世代に「食」の安全をつなげるために、国産を生み出す農家とそれを食べる消費者が力を合わせて「国消国産」を応援しましょう。



「地産地消」が「国消国産」に、「国消国産」がSDGsの達成へ

SDGs持続可能な開発目標

- 爆発的人口増加
- 食料不足
- 貧困・飢餓
- 環境破壊
- 気候変動など



国消国産

- 食料安全保障
- 食料自給率の向上
- 生産基盤の維持および拡大
- 次世代の担い手確保
- 環境負荷に配慮した農業など



地域で私たちにできること

農産物直売所を利用する



日本で私たちにできること

国産農畜産物を選んで食べるごはん(お米)をたくさん食べる

「国消国産」は農業と消費者をつなぐきっかけ

持続可能な地域農業・地域社会づくり



世界で私たちにできること

「国消国産」を応援し、SDGsの達成に貢献

地元のお米を食べて「国消国産」を応援しよう!

お米のお買い求めはJA東びわこで!!

お米を買いに行くのが面倒…!



そんなあなたに
おすすめ!

お得な定期配達

定期配達

2週間ごと 1ヶ月ごと 2ヶ月ごと

お選びいただけます



ポイント①
おいしい白米を
玄関まで
お届け!

ポイント②
彦根市・愛知郡・
犬上郡の地域限定!
特別価格&送料無料

ポイント③
スマホで
簡単お申込み!
※お近くの支店からも
お申込みいただけます。

スマホで読み取って
詳細を見る→



お米センター
0120-89-0408

J A東びわこの 総合事業をまるっとご紹介!

J A東びわこは、地域の暮らしを支えるための貯金や融資、共済、高齢者福祉、ガソリンスタンドなど、幅広い事業に取り組むことで地域のインフラ機能を発揮しています。

金融事業 (JAバンク)

貯金や積立、融資、為替など地域の皆さまへ金融サービスを提供しています。



金融事業 (JA共済)

「ひと・いえ・くるま」の総合保障で、地域の皆さまが安心して暮らせるようサポートしています。



宮農指導事業

農家にアドバイスする仕事です。職員が農家へ出向き、良質で安全な農産物の育て方や農業経営について相談を承っています。



購買事業

農業に必要な資材や日用雑貨などの共同購入により、組合員の皆さまが安価で良質なものを安定して購入できるよう取り組んでいます。



販売事業

農産物をJAが集めて直売所で販売を行うほか、市場・卸売業者へ出荷し、農産物を適正な価格で販売することで農家の経営を支えています。



福祉事業

2カ所のデイサービスセンターのほか、「居宅介護支援」や「訪問介護」「福祉用具貸与・販売」と幅広い内容で介護支援を行っています。



燃料事業

給油所や燃料配送所を備え、万全の体制で事業を展開しています。



葬祭事業

3カ所の葬祭ホールを備え、24時間年中無休の体制で専門スタッフがサポートしています。



生活指導事業

組合員の生活全般について指導し、地域コミュニティの活性化等による「地域の活性化」に取り組んでいます。



●その他、出版・文化事業などの総合事業を展開しています。

いっぴーと学ぶ 准組合員入門BOOK



私は准組合員だけど、組合員ってなんだろう？

組合員には「正組合員」と「准組合員」の2種類があります。どちらもJAのさまざまな事業サービスや施設を使うことができます。「准組合員」は、農産物を購入したり、JAの事業を利用することで、間接的に農業をサポートする欠かせないパートナーです。



つまり准組合員は地域農業の応援団なんだ！

正組合員(次のいずれかに該当する方)

- 農業を営み、住所または経営する土地が当組合の地区内にある方
- 1年間の農業従事日数が30日以上あり、住所または從事する土地が当組合の地区内にある方

准組合員(次のいずれかに該当する方)

- 管内に住所がある方で当組合の事業を利用することが適当と認められる方
- 管内に勤務されている方で信用・購買・共済等の取引を1年以上継続されている方
- 管外に住所がある方で購買・農産物購入を1年以上継続されている方



じゃあ、地域の農業や暮らしを豊かにするために私たちにできることってあるのかな？

もちろんです。JAに親しみと関心を持ってサービスを利用することで地域農業の維持・発展やより良い暮らしにつながります。さらに、JAのサービスを利用するだけでなく、仲間づくりや健康づくりに役立つ文化教室「さんさん講座」や、食・農・暮らしに関心のある方が色々な活動に参加いただくこともできます。



「利用」や「参加」にとどまらず、JAの各事業の運営側に回るといった意味で、「准組合員」が「参画」できるJAづくりを目指しているんだね！



○地域農業の維持・発展
○より良い地域社会に